

平成 18 年 12 月 28 日
日興コーディアル証券株式会社

北林幹生（取締役社長）就任会見発言要旨

要旨

12月26日付で日興コーディアル証券の取締役社長に就任した北林幹生です。

今回当社の親会社である日興コーディアルグループが、市場の信頼を確保する上で非常に重要となる情報開示の面で問題を起こし、市場の信頼を大きく傷つけたことについて、私は非常に遺憾に思っています。当社のお客様をはじめとする関係者の皆様に多大なご迷惑をおかけしたことを、心よりお詫び申し上げます。今回失われた日興コーディアルグループの信頼の回復に向け、また、市場の健全な発展に寄与すべく、グループの役社員と力を合わせて取り組んでいく所存です。

▶ 公共性の高い証券会社には高い倫理観が必要

貯蓄から投資への流れがますます激しくなる中で、当社は、わが国の証券市場の発展に大きく貢献したいと考えています。そのためにも、2006年4月から2008年3月までの24ヶ月経営計画のもと、優れた金融サービスを提供することにより、お客様に選ばれる金融サービス会社となるべく、日々業務を遂行しています。

計画は全体として順調に推移しておりますが、私たち証券会社は、市場の担い手として公共性が高い会社であることを忘れてはならないと考えています。従って、高い倫理観を保ち、ガバナンスを徹底することを最重要と考え、内部管理体制をしっかりと構築しながら、経営をしていく所存です。

▶ 信頼回復に向けた取り組み

日興コーディアル証券はリテールビジネス・ホールセールビジネスにおける日興コーディアルグループの中核企業です。その一方で、今後の日興コーディアル証券の成長にあたっては、総合金融サービスグループである日興コーディアルグループの信頼回復が不可欠な条件でもあります。

今回の件による日興コーディアルグループ全体の信頼低下が当社に及ぼす影響は大きいと考えており、グループの中核企業としてお客様との接点を大切にして、一日も早くお客様と正常な関係になれるよう、グループの信頼回復を最優先課題として全力で取り組んでいく所存です。

以上